

質問 250億の借金の現実の反省は？「地域主権の推進」と盛んに言われるが、交付税の減額・権限の委譲というこの制度は自治体の力量が問われるはず。多くの自治体・首長が自主財源確保に紛争し、その姿がマスコミも注目し、市民もその姿に誇りを持ち協力する実例が全国各地に広がって



中島 正昭 議員

自治体の長として、市の財政状態にどの様に対処するか、理念・信念について

地域主権改革一括法について



倉島 良司 議員

質問 ①福祉・教育などの水準を保障するために設けられてきた国の基準を取り払い、国の責任を放棄し、財政負担を減らすのが狙いであり、住民サービスの最低水準を確保することも難しくなることが心配。②自由度を拡大すると、地方議員定数の上限規定の撤廃が盛り込まれ、住民の声を遠ざけ、議会を弱体化する危険性が

質問 焦臭い朝鮮半島情勢、テロ指定国と言われ、悪政・悪行三昧の

有事の際の市民の安全確保対策について

質問 予想もしなかった経済の低迷による税収減、国の制度改革による交付税の減額、病院への財政支援等が当市の財政状況を招いた。今後、郷病院の民営化、水原中学校・葬斎場等大規模事業が予定されるなか、更なる交付税の減少もあり、事務事業の見直し、身の丈に合った行政運営をしていきたい。

質問 「官製ワーキングプア」という聞きなれない言葉を耳にするほど、公務職場に働く非正規労働者も、公共工事、公共サービスを受注した企業で働く労働者も、低賃金に苦しむという異常な実態が生じている。

公契約について

質問 自治体の自主性を強化し、自由度の拡大を図るといった方策としては評価できる。しかし、最低基準が安易に緩和されると、地域間格差がますます助長される危険がある。財源移譲などに注視し、行政が後退しないよう対応したい。

ある。③一括交付金化については、自由に使えるというふれこみだが、総額が大幅に減らされるという不安が懸念される。④道州制導入への促進にならないか、等々疑問だらけだが、市長の認識を伺う。

質問 建設業協会からの要望書もあり、今後も努力願いたい。保育園で働く臨時保育士さん達への配慮も宜しく願います。

こうした中で公契約運動が全国的に大きく前進している。公共工事発注にあたって、この理念を生かしている自治体もあるが、市長の見解を伺う。

質問 当市は、建設工事入札は、極力市内業者を指名発注している。工事等の制限価格も、今年4月から改正し、落札率は92%、94%で推移しており、下請けの事業者や従事する労働者へのしわ寄せは少ないものと考えている。

質問 阿賀野市には自衛隊演習場が存在し、防衛省からの施設補助金が水原町時代から有ったが、もつと施設拡大・拡充を要望し、財源確保と地域振興にも繋げたら、と思う面も有るが市長の考えを伺う。



また、阿賀野市には自衛隊演習場が存在し、防衛省からの施設補助金が水原町時代から有ったが、もつと施設拡大・拡充を要望し、財源確保と地域振興にも繋げたら、と思う面も有るが市長の考えを伺う。

議案賛否一覧表

6月定例会（平成22年第5回 6月10日～22日）

議案	議員	議席																議決結果							
		公明党	日本共産党			新政クラブ			会派の所属なし																
議員	議員	村上清彦	倉島良司	稲毛明	岡部直史	宮脇雅夫	福住つゆ子	江口卓王	佐竹政志	山賀清一	雪正文	風間輝栄	清水友行	中島正昭	石川恒夫	高橋幸信	山口功位	遠藤智子	池田誠強	泉誠蔵	帆刈剛	山崎正春			
人事	阿賀野市農業委員会委員の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	推薦	
市長提出議案	専決処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認	
	予算	平成22年度阿賀野市一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可決
		平成22年度阿賀野市老人保健特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可決
		平成22年度阿賀野市介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可決
		平成21年度阿賀野市水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可決